

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報(月報)

4月

2025/4/1 ~ 2025/4/30

1. 患者報告数

疾病名	総数		男		女	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
性器クラミジア	9	33	2	4	7	29
性器ヘルペスウイルス	3	5	0	0	3	5
尖圭コンジローム	1	6	0	0	1	6
淋菌	1	4	0	0	1	4

2. 定点あたり報告数

疾病名	中部	沖縄県	全国
性器クラミジア	2.25	2.75	2.39
性器ヘルペスウイルス	0.75	0.42	0.9
尖圭コンジローム	0.25	0.5	0.54
淋菌	0.25	0.33	0.63

※中部保健所管内 STD定点医療機関内訳

・泌尿器科・・・2医療機関

・産婦人科・・・2医療機関

計:4医療機関



※「**定点あたり報告数**」とは・・・1医療機関あたりの平均患者報告数



※**年齢別報告数や過去5年間の報告数の推移等は、「沖縄県感染症情報センター ホームページ」**に掲載しています。

詳しくは**こちら(沖縄県感染症情報センター)**をご覧ください。

3. 性感染症の主な症状について

疾患名	主な症状
性器クラミジア	(男性) 排尿痛、尿道不快感、かゆみなどの症状がみられる。 (女性) 自覚症状に乏しいことが多い。子宮頸管炎、不妊などにつながることもある。
性器ヘルペス	外陰部の不快感、かゆみ等の症状の後、発熱、全身倦怠感、リンパ節の腫れ、強い痛み等を伴って、潰瘍や水疱が出現する。女性では排尿困難や歩行困難のため、入院加療を余儀なくされることもある。一度感染すると、ウイルスが潜伏し、再発することが多い。
尖圭コンジローム	性器・肛門周辺にとがったイボのようなものができ、おりものの増加やかゆみ、痛みを伴うことがある。
淋菌	(男性) 急性尿道炎として発症し、膿などの分泌物や排尿時の痛みを伴う。 (女性) 子宮頸管炎として発症するが、自覚症状のない場合が多い。不妊につながることもある。

※**気になる症状がある場合は、医療機関(男性は泌尿器科・女性は産婦人科)へご相談ください。**